

**日本光学会平成 18 年度第 178 回幹事会議事録**

日 時： 2006 年 5 月 12 日(金) 13:30~17:30

場 所： 東京理科大学森戸記念館 (神楽坂) 第 1 会議室

出席者： 伊東幹事長, 他 32 名

議 事：

1. 前回議事録に関する質問事項

- ・ 前回議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・ 発刊作業進捗が報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ 掲載および投稿論文状況が示された。
- ・ 電通大サーバーの増強およびバックアップサーバーの立ち上げを検討中であるとの報告があった。

(3) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・ OR 出版委員を陳軍 (東京工芸大学工学部メディア画像学科), 大平泰生 (新潟大学工学部電気電子工学科) の両氏に依頼したとの報告があった。
- ・ OR のデータベースに関し, Springer を介して EBSCO Publishing により公開すると報告された。
- ・ OR アクセス統計が示された。アクセス数は増加傾向にある。
- ・ 平成 18 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の OR 収支決算書が示された。

2-2. 講演会関連報告

(1) 第 31 回光学シンポジウム進捗報告

- ・ 講演プログラム確定が進捗として報告された。順調な進捗である。
- ・ 今後, 広報活動に力を入れるとの報告があった。

(2) 第 40 回サマーセミナー進捗報告

- ・ ナイトセッション講師が確定し, 順調な進捗であるとの報告があった。

(3) OJ2006 (日本光学会年次学術講演会) 進捗報告

- ・ 基調講演, 国際シンポジウムの内容が確定し, 順調な進捗である。
- ・ 日本光学会年次学術講演会の英語名称の変更が審議され, Optics Japan (略称 OJ) から Optics and Photonics Japan (略称 OPJ) に変更することが決定した。
- ・ OPJ ベストプレゼンテーション賞に関し, 講演は各セッションで行うことが承認された。

- ・ CD-ROM 予稿集の配布に関しては, 共催の(社)日本分光学会と審議し, 決定するとの報告があった。

- ・ 開催案内のためメーリングリストの使用が承認された。

(4) 第 2 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

- ・ 開催日時, 予算が報告された。順調な進捗である。
- ・ 光応用新産業創出フォーラム運営委員会を, 設置する予定であるとの報告があった。

(5) 平成 17 年度北海道支部学術講演会収支報告

- ・ 収支報告がなされた。活発な議論が行われ, 盛況であったことが報告された。

(6) 第 39 回五学会関西支部連合講演会収支報告

- ・ 収支報告がなされた。

(7) 平成 17 年度名古屋講演会収支報告

- ・ 収支報告がなされた。参加者 30 名で盛況であったことが報告された。

(8) 第 32 回冬期講習会結果報告

- ・ 収支報告がなされた。参加者 67 名, 活発な意見交換がなされ盛況であったことが報告された。

(9) 「21 世紀のバイオメディカルフォトンクス分子イメージング」結果報告

- ・ 300 名を超える参加者で, 大変盛況であったことが報告された。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・ 8 件の協賛依頼に関して承認された。

(2) 会員動静

- ・ 大きな会員数の変動はないことが報告された。

(3) 平成 18 年度幹事名簿・研究グループ代表者名簿

- ・ 平成 18 年度幹事名簿・研究グループ代表者名簿が配布され, 個人情報の取り扱いに関し再確認を行った。

(4) 会計から

- ・ 年度別収支が示され, 会費収入・事業収入ともに減少傾向であることが報告された。

- ・ 3 月に開催された総会で報告した平成 17 年度収支決算および平成 18 年度予算の説明があった。詳しくは「光学」第 35 巻第 7 号に掲載予定である。

- ・ 平成 18 年度日本光学会における会計処理の説明がなされた。

- ・ 平成 18 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の収支決算書が示された。

(5) SPIE 会長との懇談会について

- ・5月16日にSPIE新会長であるPaul McManamon氏と懇談会を行う予定との報告があった。

- ・韓国光学会(OSK)との協定更新が無事終了したと報告があった。

#### (6) その他

- ・東京工業大学百年記念館特別講演会「ホログラフィーサイエンスからアートへ」のアナウンスがあった。

### 3. 審議事項

#### (1) 年度計画について

- ・年度計画についての説明があった。

#### (2) 光学論文賞選考委員会について

- ・光学論文賞選考委員長を、今後OPJ委員長を担当していない日本光学会副幹事長に固定することが提案され承認された。なお選考委員候補は7月の常任幹事会で提案する。

#### (3) 光学論文賞募集要項について

- ・募集要項について、平成17年度と同様に行うことが提案され承認された。

- ・光学論文賞募集を「光学」第35巻第7号に掲載することが承認された。

#### (4) 奨励賞審査委員について

- ・奨励賞審査委員が伊藤審査委員長より提案され、承認された。

#### (5) 会員制度委員会について

- ・日本光学会フェロー制度や評議委員会制度等を審議する「会員制度委員会」の発足が提案され、承認された。

- ・会員制度委員長には笹木副幹事長が推薦され、承認された。

#### (6) 「500人会員増委員会」(仮称)について

- ・5年間で日本光学会会員500人増を目的とする「500人会員増委員会」の発足が提案され、承認された。

- ・500人会員増委員長には立野副幹事長が推薦され、承認された。

#### (7) 幹事選挙について

- ・幹事選挙について、平成17年度と同様に行うことが提案され承認された。

- ・幹事立候補募集記事を「光学」第35巻第7号に掲載することが承認された。

#### (8) ホームページについて

- ・ホームページのリニューアルに関する進捗が報告された。

- ・現在100MBである応用物理学会サーバーの分科会への割り当てに関し、割り当て拡大を申請し「光学」原著論文を保存することを承認した。

- ・「光学」原著論文のホームページ上での取り扱いについては、「光学」編集委員と記録HP担当で調査することが指示された。

#### (9) 事務局運営ガイドラインについて

- ・幹事会運営の効率化を目的とし、「事務局運営のガイドライン」を作成することが承認された。

#### (10) 事務局運営について

- ・日本光学会事務局の開局曜日を月・火・水・木曜日に拡大し、加えて閉局時間を17:00まで延長する予定であるとの報告があった。

#### (11) ロゴについて

- ・プロデザイナーへロゴのリニューアルを依頼することで意見が一致し、各自プロデザイナーを調査することが指示された。

#### (12) その他

- ・幹事会資料の電子データベース化に関し提案があり、継続審議となった。

### 平成18年度第1回常任幹事会

2006年7月14日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、光学シンポジウム結果報告、サマーセミナー進捗報告、光応用新産業創出フォーラム進捗報告、Optics and Photonics Japan 2006進捗報告、冬期講習会進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、奨励賞審査結果報告、光学論文賞選考委員報告、会員制度委員会報告、500人会員増委員会報告、事務局改善報告がなされました。さらに、電気関係学会北陸支部連合大会への参加、将来問題担当兼人材育成・男女共同参画担当幹事、学会名の英語表記、日本光学会のロゴマーク、シンポジウム予稿集等への転載、HP改善について審議が行われました。なお、詳しい幹事会議事録は第35巻第11号に掲載予定です。

### 第228回「光学」編集委員会

2006年7月7日(金)に、応用物理学会会議室において開催されました。第36巻第2巻および第5号の企画決定、第36巻第6、7号の第二次構想案、第36巻第8、9号の第一次構想案の審議、第36巻第10、11号と第37巻第4号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、論文投稿・審査状況についての報告、会計の報告がなされました。

## Optics and Photonics Japan 2006

期 日：2006年11月8日(水)～10日(金)  
場 所：学術総合センター（一橋記念講堂）（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）  
主 催：日本光学会，日本分光学会  
問合せ先：OPJ2006事務局  
電話 03-5925-2840 Fax 03-5925-2913  
E-mail: opj@opt-j.com  
URL: <http://www.opt-j.com/opj2006/>

詳細は本号および次号の綴じ込みをご覧ください。

### シンポジウム「テラヘルツ分光の最先端—テラヘルツ分光で見えるもの見えないもの—」

フェムト秒レーザー励起によるパルステラヘルツ発生を用いた分光手法を中心として，テラヘルツ分光・計測研究が活発化し，さまざまな産業製品の非破壊診断などへの応用も注目されています。本シンポジウムでは「テラヘルツ分光」で何がわかるのか，どのような応用が可能か，という点に焦点を当て，さまざまな分野でテラヘルツ分光に関連した研究で成果をあげておられる研究者をお招きし，情報交換と議論の場を提供します。

期 日：2006年11月2日(木)，3日(金)  
場 所：IPC生産性国際交流センター（神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村）  
主 催：日本分光学会テラヘルツ分光部会  
協 賛：日本光学会，ほか  
定 員：100名  
参加費：1名につき，一般7,000円（当日10,000円），会員（協賛学会員含む）4,000円（当日7,000円），学生会員（協賛学会員含む）1,000円（当日3,000円）。非会員の学生は日本分光学会にご入会いただきます。  
宿泊・食費：一般・会員14,000円，学生11,000円  
親睦会費：2,000円（当日払い）  
講 演：招待講演10件を予定。ポスター発表を募集。  
参加申込：下記申込先に電子メールで以下の情報をお送りください。(1) 氏名，(2) 所属，(3) 連絡先（住所，電話，Fax，E-mail），(4) 宿泊（11/2夜）の有無，(5) 食事（11/2夕，11/3朝，昼）のうち不要のもの，(6) 一般，会員（学会名），学生（学会名）の別（非会員の学生は，同時に日本分光学会への入会手続きをしてください。詳細は日本分光学会ホームページ参照。）

申込締切：9月22日(金)

払込締切：10月13日(金)

ポスター要旨締切：9月22日(金)

申込先：服部利明  
筑波大学大学院数理工学物質科学研究科  
電子・物理工学専攻  
〒305-8573 つくば市天王台1-1-1  
電話 029-853-5210 Fax 029-853-5205  
E-mail: hattori@bk.tsukuba.ac.jp  
日本分光学会 URL: <http://www.bunkou.or.jp/>

### 「液晶ディスプレイにおける光学技術」講座

本講座は直視型液晶フラットパネルディスプレイに焦点を絞り，液晶ディスプレイにおける光学技術の基礎から設計，評価までを一通り学ぶことができるように構成されています。まず，画像表示の原理と表示方式，位相板を用いた広視野角化・広視野角液晶表示方式，直視型ディスプレイで重要なバックライト照明技術に関連して，シミュレーションの光学的基礎から実際の設計手法，設計ツールであるLightToolsの機能とバックライト照明の解析，LCD用導光板の成形技術，ディスプレイ素子としての液晶パネルの測定・評価について講義します。

本技術講座により液晶ディスプレイにおける光学的側面を十分習得することができ，液晶ディスプレイ関連技術者の光学技術レベルアップに寄与します。関連技術者の積極的な受講をぜひおすすめします。

日 時：2006年11月7日(火) 13:00～17:00，11月8日(水) 9:30～16:50  
場 所：機械振興会館地下3階2号室（東京都港区芝公園3-5-8）  
講 師：小林駿介（山口東京理科大），石鍋隆宏（東北大），牛山善太（タイコ），川島一政（サイバネットシステム），菊川健治（日本製鋼所），鶴川浩一（コニカミノルタセンシング）  
主 催：（社）日本オプトメカトロニクス協会  
協 賛：日本光学会  
参加費：1名につき，一般55,125円，正会員40,845円，賛助会員・協賛44,940円（テキスト代・消費税を含む）  
申込期限：2006年10月31日(火)  
問合せ先：（社）日本オプトメカトロニクス協会  
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567  
E-mail: [chiba@joem.or.jp](mailto:chiba@joem.or.jp) <http://www.joem.or.jp>

### 「光学系の像形成と評価」技術講座

本技術講座では，特にレンズの設計を中心とする光学系の研究開発技術者を対象に，光学系の像形成性と評価に関し

て実空間におけるコンボリューションやフーリエスペクトル空間における OTF の概念などの理解をより深くすることを目的としています。

日 時： 2006 年 11 月 9 日(木), 10 日(金) 両日とも  
10:00~16:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階 2 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

講 師： 小川良太 (ペンタックス)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1 名につき, 一般 55,125 円, 正会員 40,845 円,  
賛助会員・協賛 44,940 円 (テキスト代・消費税を含む)

定 員： 36 名

申込期限： 2006 年 11 月 2 日(木)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: chiba@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

#### 「ズームレンズ設計法」技術講座

本技術講座では,ズームレンズの近軸理論的な部分から,ズームレンズ特有の取差バランスの取り方や誤差に関する考えなどについての基本的な知識,さらに最近のデジタルカメラ用ズームレンズについてのトピック的事項などに関する講義に加え,計算機を用いた演習を通して,受講者の方々に感覚的に理解していただくことも意図しています。

日 時： 2006 年 11 月 14 日(火), 15 日(水) 両日とも  
10:00~17:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階 1 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

講 師： 福嶋 省 (コニカミノルタオプト)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1 名につき, 一般 55,125 円, 正会員 40,845 円,  
賛助会員・協賛 44,940 円 (テキスト代・消費税を含む)

定 員： 36 名

申込期限： 2006 年 11 月 7 日(火)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

#### 「先進安全自動車と光学技術」セミナー

私たちは,日々の何気ない生活の中で,物を見たり,物を写したり,いろいろな場面で「光」の恩恵に浴しています。このような「光」の恩恵は,普段は気づかないようなところでも受けており,そのひとつに自動車があります。本セミナーでは,ますます拡大していく自動車社会において,交通事故を未然に防ぐための予防安全システムや,交通安全を支えるための運転支援技術などの安全対策に活用されている光学技術について,各専門分野の方より講演していただきます。身近な話題ですので,多くの方に興味を持っていただけると幸いです。光技術者に限らず,幅広い分野の技術者の方にぜひご参加されることをお勧めします。

日 時： 2006 年 11 月 21 日(火) 10:30~16:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 2 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

プログラム： 先進運転支援技術の現状と展望, 広ダイナミックレンジイメージセンサの車載用途への応用, 先進安全車の車載画像処理システム, パーキングアシストシステム

参加費： 1 名につき, 一般 25,515 円, 正会員 15,330 円,  
賛助会員・協賛 19,425 円, 学生 4,095 円 (テキスト代・消費税を含む)

申込期限： 2006 年 11 月 14 日(火)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

#### 「光学薄膜技術」—光学薄膜技術の基礎～応用コース— 技術講座

本技術講座では,今後さまざまな分野でニーズが高まる光学薄膜技術の基礎から応用までを取り扱います。また,毎年,受講者のご意見をもとに見直しを図っており,今年度も光学薄膜設計シミュレーションソフトとして人気の高い TFCalc を用いて,受講生 1 名に対してパソコンを 1 台ご用意し,光学薄膜に対する実践的な技術習得を目指します。

日 時： 2006 年 12 月 7 日(木) 9:00~17:30

8 日(金) 9:00~17:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 2 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

講 師： 12 月 7 日 岡本幹夫 (ニコン), 生水利明 (オリ

ンパス)

12月8日 臼井 巖 (コニカミノルタオプト), 松本  
繁治 (シンクロン), 桜井 武 (シンクロン)

主 催: (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会, (社)精密工学会

参加費: 1名につき, 一般66,150円, 正会員51,450円,  
賛助会員・協賛55,650円 (テキスト代・消費税を含  
む)

定 員: 50名

申込期限: 2006年11月30日(木)

問合せ先: (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

### システム制御情報セミナー 2006 「測位衛星技術が支 える社会—GPS/GNSSの基礎と事例」

期 日: 2006年10月12日(木), 13日(金)

場 所: 立命館大学大阪オフィス (大阪市中央区北浜3-  
1-18 島ビル6F) 京阪・地下鉄御堂筋線淀屋橋下車京  
阪14-B出口1分, 電話 06-6201-3614

主 催: システム制御情報学会

協賛/主旨: 問合せ先 URL 参照

プログラム:

<10月12日(木)>

10:30 「GNSS測位の原理と測位アルゴリズムの基  
礎」杉本末雄 (立命館大)

13:30 「高精度長基線キネマチック測位と海底地殻変  
動観測」一色 浩 (数理解析研究所)

15:15 「GPSにおけるマルチパス信号処理技術」久保  
信明 (東京海洋大)

<10月13日(金)>

10:30 「GPS受信機の時刻の利用について」近藤仁志  
(古野電気)

13:00 「GPSを用いた移動体のナビゲーションと誘導  
制御—レスキューロボットへの適用—」中西弘明 (京  
都大)

14:10 「ネットワーク型測位補強システム」齋藤雅行  
(三菱電機)

15:20 「擬似衛星 (スードライト)」藤井健二郎 (日立  
産機システム)

定 員: 先着60名

聴講料/支払方法: 問合せ先 URL 参照

問合せ先: システム制御情報学会係セミナー係

電話 075-751-6413 Fax 075-751-6037

E-mail: jigyou@iscie.or.jp

URL: http://www.iscie.or.jp/list\_seminar.html

日本光学会 *news* の掲載申込み先:

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー  
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお, 掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで, 開催日が1~10日の場合  
は, 開催日の3か月前の15日までをお願いします。

## 日本光学会平成18年度幹事(\*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長：	立野 公男* (日立)	笹木 敬司* (北海道大)
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事：	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事：	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事：	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事：	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キャノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)